

春來地区公民館だより

春來



9月

令和8年8月20日

第99号

(文責 田中篤幸)



夏休みど真ん中



第29号です。数字に9が並びました。フォーナインです。

7月26日(日)に開催した、「木の枝教室」の様子を紹介します。



たくさんの作品ができあがりました。

7/1(新温泉地区女性会で講話)

浜坂サンシーホールにて、イタリアでの生活、春來の歴史、切手アートについてお話しをしました。参加者は30名でした。



福祉部会情報(2)「朝起きたら水を飲む」

この情報は、6月7日(日)の春來区敬老会にて、町長さんのお話を聞いて後、調べてみました。

起床後のコップ一杯の水は、睡眠中に汗や呼吸で失われた水分を補給し、軽い脱水状態を防ぐために極めて重要です。血流を改善して体をスムーズに目覚めさせ、胃腸を刺激して便秘を予防する効果があります。

◎適切な量と温度

コップ一杯(約200～300ml)が目安です。胃腸に負担をかけないよう、常温水や白湯(さゆ)がおすすめです。



出口 龍憲 氏 を学ぶ(2)



Q いつ頃から龍の絵を描かれたのですか。なぜ、龍の絵を描くのですか。

A 昭和

12年、小学校4年生の秋です。欄間の龍の雄姿にひかれたそうです。出口さんが辰年生まれのため、独学で水彩画を学び、龍の絵ばかりを描いたそうです。

「龍のように苦勞を重ねて出世し、世のため人のためにつくしてほしい」が願いです。

企画展、今後の予定など

★今後の予定★

R 8 年

- 8～9月 切手アート展と「木の枝工作」小学生作品展（開催中）
- 10～11月 着物のリメイク展
なっちゃんのリメイクの会（予定）
- 12月～R 9年3月（休館）

R 9 年以降の計画等

- ※阪本善行 氏 但馬の先人（計画中）
- ※田中初子 氏 絵手紙展（計画中） ※小谷 定 氏 絵画作品展（計画中）
- ※松崎直樹 氏 子どもの作品展（ポスター、デザイン）（計画中）
- ※福井哲也 氏（香住の先輩）鉄道写真展（計画中）



6～7月に開催した、山西周二氏の絵画作品展へ寄贈された「胡蝶蘭」について調べました。胡蝶蘭はラン科植物の一つです。東南アジアに分布し、白い花をつけます。和名のコチョウランは、この花が蝶に似ていることに由来します。

春來の自然 「アサガオの成長」



5月下旬、第92号で紹介したアサガオの種をまきました。

一種類では少ないと感じたので、左側の3種類も一緒にまきました。

開花予想は8月です。盆休みに孫が帰り喜ぶ姿を想像しています。

ています。

【アサガオの薬用】 種子は「牽牛子」（けにごし）と呼ばれる生薬として用いられ、日本薬局方にも収録されています。中国古医書「名医別録」では、牛を牽いて行き交換の謝礼にしたことが名前の由来とされています。粉末にして下剤や利尿薬として薬用にすることができます。

※生薬・・・しょうやく、天然に存在する薬効を持つ産物を、そこから有効成分精製することなく、体質の改善を目的として用いる薬のことです。

あっちゃんの夏休み「解剖実習」

小学校の理科「生物の体のつくり」で解剖の授業があったはずですが、不思議なことに好奇心旺盛なあっちゃんの記憶には残っていません??。もしかしたら、その日は体調が悪く、学校を休んだのかもしれませんが。

かつての理科の解剖実験といえばカエルが定番でしたが、動物愛護の観点や心理的配慮から、近年では魚（イカ、アジ、サンマ）を扱う学校が増えているそうです。（※実験後おいしく頂けそうな魚です。）

では、「カエルの解剖」はいつから廃止されたのでしょうか。

調べてみました。

全国一斉に「いつから廃止された」という明確な年月はありませんでした。学習指導要領で実施が義務付けられなくなったことや、上で書いた動物愛護の観点、さらには代替え教材の普及により、1990年代後半～2000年代以降、各学校や自治体の判断で段階的に姿を消したようです。（※35～25年前と想像します。）

【義務化の時代】

戦後まもない1947年の学習指導要領（理科編・試案）で「カエルの解剖をする」と明記され、かつては必修に近い扱いでした。

【義務化の解除】

その後の改定で実習は義務ではなくなり、実施するかどうかは教師の判断に委ねられるようになりました。

（※カエルの皆さんは喜んでいただいことでしょう・・・ゲコゲコと）

